



增字

西點消息錄全



増字消息

丸消息と通者信贈答安否

山所遠國長途不暇何事人

間為用達と基中地先書状

名紙と書文の級文字一筆



尚書

一物一書結上信達と結以手

紙以清意中入尊書号物考

書本簡貴墨筆軌以收芳墨

清書紙以紙面以紙上清見

清酒以漢披見致令仁惟叔又

時惟正月者嘉陽者寒以冬

東迎難去二月と仲春迎日春

暖暖氣相催二月以生長閑

之節所と在盛と以貴賤群

集以月畫長為者高又月

アツマル ヨツツキ シメ ナツ ウスキ アツサ コレ フシ イツツキ

舉月入梅中不務之天氣向

暑節卷葉田種室中相仕

露半塵振每は六月を林澆云

用入年中見家甚喘大星融

暑極星難堪云用之とを張星瀝

凍盡七月夾則未殘也難去秋

星法付南品秋冷稍僅或凍交元

月季秋冷氣相燭朝夕相霧十

月玄英冬冷上同霜月冬氣向

冬膏月十有節脫袴着土月

廿八廿 阿タル ツキ トウ イツヒ

三 ツキ トウ フロ ツキ



渡古厥也悦国出夜珍常事山俄天悦  
養老若賀祝者波且る分之主  
家不名流旗中基以那付代信  
国代诸役人重道自玉他国私願

地頭在番主勅公勢以勅仕  
勢一順重事と仕合市国  
見若澤お海以禮謝禮秀法  
官行事察親友部合先業  
首尾結結捧上意市意山然

今般は為生年去年先月先  
 日先頃先達る日外出来昨  
 程を以入の密券付合今為  
 今般は為生年去年先月先  
 日先頃先達る日外出来昨

疾初あ尚月今日今晚今夕之  
 明日内晩明日日裁日早且美  
 客から名来下清光臨来駕  
 来臨内入来必以守時殊更  
 洋具備更乃又亦候亦復

目以依之 諸君然者 倭比去  
別為山 倭有之 倭有之 報以  
昔之 倭之 倭之 倭之 倭之  
南 東 南 地 倭 元 生 山 地 之 春  
南 方 何 最 打 新 實 是 倭 之 矣

倭 在 比 倭 比 倭 外 生 之 矣  
之 安 諸 女 靜 安 倭 倭 之 矣  
弟 之 如 仲 也 命 之 矣  
其 心 後 之 心 未 之 打 總 之  
久 矣 將 之 矣 矣 矣 矣 矣 矣



此止事繁多彼是混雜シホト  
 子以左右法委否不固コムカフヒダリニギムムスシイナヤ  
 新之約束物係直マコトタヒラ  
 礼失教マコトタヒラ  
 忠以海案以用控不カールスムウニ  
 悔失ヒク  
 自ミツカラ

然勿論抑採受常ゼン  
 毛頭兼シカリナカレアラソラ  
 束以想情入ツカヌスムチゾロ  
 度也主ソコゴトシアル  
 他品速カヤシスミヤカ  
 成先刻カサキキザム  
 所常スナハナムシロ  
 以所タチマチトキ  
 以所スナハチ

弄也读  
キガミ アシ カタル サ キウ コツ タイ カタル ズム ヒヨル セマル  
今秋来和山委气  
ハハ 今秋 来和 山委 气  
摘若板读  
多 トク ズキ クラ キョ ハシリ シル ニシ ブ マチキ ウケ  
清诗山和月侍日读奇合德  
シマウ トウ 妙 山和 月侍 日读 奇合 德  
涉我气困法物格在  
ウケ マチ カラ セウ クン ゲン シマウ ハシロ オウ ヒマ マン オウ マキウ  
相催内宅收寄在定在寄能  
ギヨ ハセ ハシル シジカ カタル ブツ ゴ アズ ヤマ モト オキ  
サウ サイ カル タク カル ヤド イニエ イハ アル ヤド ヲタクニ

拙宅用也  
セウ マイ ヨ 用也  
屋弱居着氣弟外  
カマン キハマリ ミタル ムスホル イキ サウ クワ ヲ ラヤ アラタ イハ  
家化远化送管日撰  
ウ 家化 远化 送管 日撰  
自法日柄壳壳重读成物  
ヒ 自法 日柄 壳壳 重读 成物  
转移入院接傳奇勢多用祭  
イシ 转移 入院 接傳 奇勢 多用 祭  
イシ イル イハ ヒク ウゴク テラ ツトム オホキ コウ シゲシ

湯榮業經浦懷胎胎娘續

常初少成女成人若年充後

充人兼用發明又智利根家

業貴彩稼園安助次方主悔

志儉約助暗恬未助定美用

女仲影費失送雲世若東吟味

旁觀主公事海松一伴裁許換

煙平生生長者高賣買現金

熟巫持危不京氣里儲不

都合貨借取卷と日記焼文

消息

洋文入札相紙を形送状候

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

物表あ替る替人金銀仕入取

惟日雇人足法續船後不淨  
性還性來苦際乃中森每打  
續途中不困不才止宿不存  
奇多支道每道多際量人負  
馬牛馬列唯嘆口海物云云

我屋如手勝多由量今宵晚刻  
天氣終日和克收晴納涼奇の  
格別格外存と外不思石奇  
相噴分別了第堪忠行要也  
我屋如手勝多由量今宵晚刻

疾更海交文陽病者入相疾

半未明三故坊家夜多由也

武藝集同素漢物備をる諸

禮以長化法身一誓苦人獄

修の事代も書集念の勵支

終病身世活乃以家内親族

親類縁者一家一門遠く友

以物遠隔心空沙法士高第

閑味を海中得宵本と三以氣

之毒笑心多美速然以光紅

身不見者死御者其少釋

死未歸中上者少佳者法

使少使倍倍名代口演釋

致近深志深切厚情厚志

顔生教津教面正面得面

帝主御慈白内々華々

通首尾好如何法如

為書文納者極進上在境

筆上一等一折一品雅少

少雅微也公公公法者儀

マレナリ キヤウチイサシヤ コレ三升ホ マニヒマ 公ベリ スキルノリ

以吾勞止難治以難依難題  
ツカフニガシイタレ ヲカフカタシ シブルムカフカタシ ヲカフカタシ ヲカフカタシ  
 涉疲立腹遠例病氣類一切  
ススルヤセ タツハチ ソムクナラス ヤマヒケ モダヘルチカガ オシ  
 持病心痛症氣癩風於傷寒  
タモツウレラ コロイタム ヤマヒイキ アツメル カゼヨシマ ヤブルサムシ  
 熱性來加醫術添減治轉業  
アツシユク キタルホーコスニ クスシニタテ テニニハリイ コロニチツリ  
 一と涉業相類以家色倍治  
コレノホル ススル ヤク アヒ コタヘル スム イキ イロ バイ ヲサム

收火保生壽一日增  
クワイキヨマツク タコロヨシタモチヤチナ ソダテル イキルモツハラ ヒトツニチゾウ  
 治肥立本懷加特祈禱以系  
アカフ コシ リウモト カル クラフタモツ イリ マツル イレマイル  
 延職未上何公推未遲未起  
ヤマ ヲツ マイリ アガル ヲカフキニ スム マイル オンクマイル 子ゴロ  
 聖所宜深家澤家合家私杜  
ノジム トコロノジム イヘ ツマ マツタカ イヘ シ  
 者悲容妻将娘兄弟姊妹  
モ アスルイル サイ スイ チヤウ アニ オト シ



祖父祖母伯父叔母孫男孫女

孫姪父流智同姓同輩腹智

舅姑舅姪姪子推系推量

系入修考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

考考考考考考考考考考考考

つら ありき せん とう ちん とう ぐく ごと ちゅう  
州 父母 存 方 同 母 同 父 以 傳  
ガシ タ マ サト ス マチ オナシ トモナフ オナシニチ マケク サソラ  
新 妻 年 額 改 替 年 始 沖  
ヒク アラタ ハル トシ カミラ アラタム コヨミ トシ ハジメ オサム  
慶 幸 考 吉 北 考 笑 中 網 中  
イハフ サイロ ヨロコブ ヨキ キガシ ヨシ ヨロコブ グル ヲクル カサヌ  
新 不 可 為 通 船 際 限 位 船 治  
ロウ フカ イウ ツク ママコト マジハル カギリ ヤスム トキ スフル  
在 小 家 例 恒 例 吉 例 為 業 上  
イマス コウ イハ タメシ ツチ ナラス コトバ オホムチ ジマク サイ カミ

ミ せん とう ちん とう ぐく ごと ちゅう  
已 瑞 年 上 加 祥 七 夕 中 元 節 重  
ステニ ハシ マ ヨシ ちん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん  
湯 兼 常 後 為 後 以 披 露  
ナメフ トシ ヲク イウ フ ノリ スフル ヒラキ アラハス  
區 内 概 成 年 序 別 一 統 以 西 海  
ヤスニガ ツカシ ヲシ セイ サイ ハヒジヨ コレ キガシ カ ベン カカフ ソロフ ソロフ  
以 收 種 年 額 思 存 奇 出 掛 其 意  
ムカフ カゼ キク ホウ ラー 子カフ セウ キヒヒ シワ タツトシコ、ロ  
ご せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん せん  
以 心 以 忠 忠 投 以 終 个 送 終 送 持  
トルコ、ロ カシラ ナブル マダニ ナゲル オヨラニ ヲウ カ ソウ キウヤ ホウニ

消息

君乳少指國進就奏國出市  
八神禁裏仙洞所内裏女  
院非宮准后着中奥方内儀  
内室素不女不男少面雜掌沙  
海河園梨僧心方丈侍者同富

法中法眼法揚上人控傍却或  
若素素洗士侍書以物以寺外大勢  
石住奉公出精お勅殿信忠室も倫  
有院室中清誠年加子起兼途  
陽寸志寸情中近正和安以愛

此を客應酬の内宛紙色

物数寄附友好物資既味

歳久安等白幼女體を徳と和

智勇の万端を以て教縁を縁に

結納の取替婚調後云お整平

産妻産延生出生情を執願息

女陳月世血礼丈支孺子清儲

達者客言月隱居家督を和遠去

藏在安地面出悉漢渡何率何

分ち願希と和と不内而登

消息

ワカッ タマク オモフ キ シヤウ アマリ アダル アダト トキ

城清加増中及智博及以履  
天多死出也子極也叔又官位  
大中納言冬後中將少右侍  
從正品六位上諸季更三國主  
賦主重々清季代之時就上

有二種一為平裁津領也初申  
上申仲年初悲惶也後云  
不依此骨不足致白不具以  
上仍白如件極付主未人

消景

二

消息

涉中人之中宿不為報者

其跡匿事腹中崩涉地

凄逝去舉去入寂死在直悲傷

通去洛驛八月名我地陳對

交主氣多故生天概書記年

續消息性來

最希生般其刻終滯陸及長

度況夜羽望日翌朝黃氏來明

躬於明方語次傳射由語也

波暢情愛先觸个向首途旅

消息

行澤 諸道中 遠都 田舎 結  
 仕 酌人 起居 紀 救 救 救 救  
 軟 立料 理 味 姜 味 塩 梅 汁  
 山 潤 淨 上品 數 多 害 未 未 賓  
 結 研 大 合 滿 腹 彼 是 困 窮 安

產 屈 伸 不 自 由 不 覺 酒 興 解  
 狂 亦 後 忘 却 睡 眠 之 熱 睡 若  
 身 若 恓 不 暇 不 能 法 失 教 不 教  
 云 浩 道 新 多 花 若 若 少 之 疾  
 病 後 病 如 命 事 數 月 救 督 回

虎背

二

篇業用物業既病死死去老  
加威配刻速存生救命在舍  
号淋浦山卷体業大悦秋  
在次涉赏息在宅子授生以  
宅教者量在肯物物俊聪明

涉範宅叔智叔方智忠少貴  
君子熱傾次男七卷七終位  
常送光法情弱自情病史病  
逐電通屋去番文育表夜抄  
權才死関の遍塞熱居当怒

虎肖

三

チスリ ナカバ コロス トルル カト セマル フセグ カマリ 井ル アタル マドフ

オフ 一ナツ マ子シ カム オキ フミ メクラ キ ド

ホニカ ヒカル カゲ オコタ ヌシ ミカラ オコタリ オツル

ラロカ スベテ オサム ツキ ラトコ ナキ ワガ ナキ ヨク

イソキニマル スグレ サトシ スル、ワカツ トモ メダム ワカツ オホヘ

ヨロコブ カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル

カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル

カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル

カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル

カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル

カカフ カシキ ムスコ カカフ メデル



叙屬<sup>ホシ</sup> 處<sup>トラス</sup> 處<sup>オチ</sup> 為<sup>シ</sup> 理<sup>カ</sup> 屋<sup>レ</sup> 本<sup>カ</sup> 伏<sup>カ</sup> 誠<sup>カ</sup> 處<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup>  
也<sup>カ</sup> 多<sup>カ</sup> 采<sup>カ</sup> 難<sup>カ</sup> 慈<sup>カ</sup> 養<sup>カ</sup> 如<sup>カ</sup> 照<sup>カ</sup> 結<sup>カ</sup> 將<sup>カ</sup>  
為<sup>カ</sup> 瑞<sup>カ</sup> 元<sup>カ</sup> 來<sup>カ</sup> 中<sup>カ</sup> 未<sup>カ</sup> 渡<sup>カ</sup> 世<sup>カ</sup> 家<sup>カ</sup> 職<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup>  
向<sup>カ</sup> 志<sup>カ</sup> 精<sup>カ</sup> 以<sup>カ</sup> 未<sup>カ</sup> 極<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 書<sup>カ</sup> 卷<sup>カ</sup> 為<sup>カ</sup> 持<sup>カ</sup>  
汎<sup>カ</sup> 渴<sup>カ</sup> 熾<sup>カ</sup> 隆<sup>カ</sup> 合<sup>カ</sup> 力<sup>カ</sup> 在<sup>カ</sup> 傳<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 志<sup>カ</sup> 過<sup>カ</sup>

料<sup>カ</sup> 不<sup>カ</sup> 覺<sup>カ</sup> 悟<sup>カ</sup> 近<sup>カ</sup> 所<sup>カ</sup> 在<sup>カ</sup> 漢<sup>カ</sup> 近<sup>カ</sup> 迎<sup>カ</sup> 和<sup>カ</sup>  
辱<sup>カ</sup> 秋<sup>カ</sup> 安<sup>カ</sup> 以<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 向<sup>カ</sup> 後<sup>カ</sup> 時<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 女<sup>カ</sup>  
難<sup>カ</sup> 密<sup>カ</sup> 通<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 色<sup>カ</sup> 秋<sup>カ</sup> 凍<sup>カ</sup> 去<sup>カ</sup> 矣<sup>カ</sup> 見<sup>カ</sup> 友<sup>カ</sup>  
刑<sup>カ</sup> 何<sup>カ</sup> 責<sup>カ</sup> 亦<sup>カ</sup> 擲<sup>カ</sup> 足<sup>カ</sup> 若<sup>カ</sup> 捧<sup>カ</sup> 為<sup>カ</sup> 指<sup>カ</sup> 事<sup>カ</sup>  
廣<sup>カ</sup> 云<sup>カ</sup> 之<sup>カ</sup> 及<sup>カ</sup> 陳<sup>カ</sup> 勢<sup>カ</sup> 法<sup>カ</sup> 寬<sup>カ</sup> 活<sup>カ</sup> 一<sup>カ</sup> 興<sup>カ</sup>

売肖

四



書破者容易速成亦面世法

以故事故實評論聽國承之

修凍非練切語琢磨指南相

傳傳授傳達人指點心武術目

錄免得字可為選上達生涯之

面目竊口決口授間遠結發地

云不可漏希代未因舉世名譽

達人廢學未熟殘意一人為

記所瞻權時時之風考中絕不

審洋難以若以心痛念以要

売肖

ツツヒラカ シヨウ カタシメチヒ タルニユク コロイタム セン イ オロカ

素仰 近先生 弟子 門人 林文 誓

洞 魚 判 姓 名 家 所 礼 式 答 類

害 貌 婚 礼 吉 辰 設 祭 附 元 肢

額 坐 隱 者 刺 髮 潔 少 止 爲 儀

製 法 進 狀 于 婚 者 龜 子 秋 万

家 家 門 瑞 相 亦 瑞 國 家 妻 德 神

像 靈 室 以 奉 法 奉 布 施 香 奠

近 君 名 傳 洞 經 續 彌 者 爲 源 後

世 合 掌 信 人 伏 拜 者 人 誓 者 啟

信 奉 回 向 爲 悲 懷 歸 亦 向 施 主

ソナヘ ヤシチフ メクリムカフ イウクニシカナシム アレミ アレム シユムカフ ホドコス ヌシ

敬之遷座修理出來用修寢殿  
 神丹誠復靈効以奉納奇進正  
 活正統助成若華尚世風雅風  
 流具有負之能者堪為或李恨不法  
 不臣我博維事於見惠心要痛

嘆方在素巨細終去物候招藉惡  
 送遠人切如漆遠天膠不款教重  
 兵寒因迹隱城國防敷害在負  
 刑戮殊伐搆捕生捕拷問責教  
 貴母印耐以辱活力別強在條

世に於て働希有と云ふ者不肖也  
怪我道奇異奇怪亦如塵埃塵  
去法妄言雜說區區名曰海靜  
禮奉年空院万民上悅樂世人元  
人等因知識惜言云誓知の願知

福徳檢見珍地是分外因實後指  
世當代先祖由緒東國感快政  
月邊信忠勅由月利之極者以者  
亦特相以台命嚴命達上南御徳  
書物書籍布後一快金故金依釋

讀

カキモノ カタ アミ ツイテ ユク ヒトツチノコ マツタホウ マタクツナウ ウリヨ子

貴道令遠最中松刺来上系系  
 述述祀烟者述祀相經撰批判止海  
 刺批發發令有略也核以彫刺樓梓  
 冰逐一和境既拜儀備用冬柳  
 尚位幸使速進令速却浪究漢

消息往來講釋

消息 音信 啓上  
消息の音信

尊翰 芳墨 芳簡  
尊翰の芳墨

御剪紙 拜誦  
御剪紙の拜誦

披閱 長閑 麗 薄  
披閱の長閑

暑 鬱陶敷 御勇健  
暑の鬱陶敷

消息

安全 あやむら 安泰 あやむら 壯健 さうけん 安 あやむら

寧 あやむら 堅固 けんこ 息災 そくさい

公家 こうけ 恐悦 おそえつ 珍重 ちんじゆう 祝 いづ

大慶 おほたけ 恐賀 おそが 祝 いづ

着 ちやく 満足 まんじつ 過量 かくりやう

欣然 きんぜん 重疊 じゆうじゆう 祇候 ぎこう

無恙 むじやう 首尾能 しゆびのう

都合能 とくごのう 深志 しんし 懇心意 こんしんい

結構 けうこう 厚情 こうじやう 冥加 めいが

難有 なんいう 今般 こんぱん 日外 にっげ

疇昔 しゆうせき 昨今 せつこん 爾 に

構当



來ら 来りしより **毎事** 毎ト **前廉** 前ト

**行幸** 天子の御出で **還幸** 天子の御入 **還御** 御出で **御成** 御出で **出御** 御出で

**御光臨** 光り臨む **來駕** 来り駕

**狂駕** 狂ふ駕 **且又** 又 **隨而** 随ひて **御訪** 御出で

**將又** 將 **得貴意度** 得 **可** 可

**乍憚** 乍 **得御意** 得 **如貴命** 如 **如來** 如來

**意** 意 **静謐** 静謐 **貴意** 貴意

**易** 易 **安堵** 安堵 **良** 良

**暫** 暫 **兎角** 兎角

**無據** 無據 **安否** 安否

兎角と云ふ

兎角と云ふ

約束 やくそく 約 やく 束 そく 約束 やくそく 約 やく 諾 だく

用捨 ようしゃ 用 よう 捨 しゃ 用 よう 捨 しゃ 用 よう 捨 しゃ 用 よう 捨 しゃ

听仰也 しやうやう 听 しやう 仰 やう 听 しやう 仰 やう 听 しやう 仰 やう

决而 けつじゆ 决 けつ 而 じゆ 决 けつ 而 じゆ 决 けつ 而 じゆ

曾而 そうじゆ 曾 そう 而 じゆ 曾 そう 而 じゆ 曾 そう 而 じゆ

毛頭 もうとう 毛 もう 頭 とう 毛 もう 頭 とう 毛 もう 頭 とう

不束 ふそく 不 ふ 束 そく 不 ふ 束 そく 不 ふ 束 そく

不埒 ふらち 不 ふ 埒 らち 不 ふ 埒 らち 不 ふ 埒 らち

念 ねん 念 ねん 念 ねん 念 ねん 念 ねん

頃 ころ 頃 ころ 頃 ころ 頃 ころ 頃 ころ

入魂 にゅうこん 入 にゅう 魂 こん 入 にゅう 魂 こん 入 にゅう 魂 こん

如在 じゆざい 如 じゆ 在 ざい 如 じゆ 在 ざい 如 じゆ 在 ざい

心底 しんてい 心 しん 底 てい 心 しん 底 てい 心 しん 底 てい

强 きやう 强 きやう 强 きやう 强 きやう 强 きやう

既 き 既 き 既 き 既 き 既 き

况 きやう 况 きやう 况 きやう 况 きやう 况 きやう

刺 せき 刺 せき 刺 せき 刺 せき 刺 せき

即席 じやくせき 即 じやく 席 せき 即 じやく 席 せき 即 じやく 席 せき

即刻 じやくてき 即 じやく 刻 てき 即 じやく 刻 てき 即 じやく 刻 てき

相谈 しやうだん 相 しやう 谈 だん 相 しやう 谈 だん 相 しやう 谈 だん

对谈 たいだん 对 たい 谈 だん 对 たい 谈 だん 对 たい 谈 だん

会释 かいしやく 会 かい 释 しやく 会 かい 释 しやく 会 かい 释 しやく

奔走 ほんそう 奔 ほん 走 そう 奔 ほん 走 そう 奔 ほん 走 そう

薄

日

振舞 彩とありてをりて教長也  
招請 今修の家名をいふ用也

招待 可くも主人と  
參會 参る會  
馳走 馳りて走らるる

拙宅 拙るる家  
逗留 逗留るる  
留守 留守るる

窮屈 窮るる屈  
逗留 逗留るる  
退屈 退るる屈

勞 勞るる  
草卧 草に卧す  
別莊 別るる莊

普請 普請るる  
建立 建立るる  
修復 修復るる

造營 造るる營  
建立 建立るる  
繁昌 繁昌るる

移徙 移るる徙  
繁昌 繁昌るる  
繁榮 繁榮るる

幾久 幾久るる  
家督 家督るる

隱居 隱居るる  
遺跡 遺跡るる

婚姻 婚姻るる  
妊娠 妊娠るる  
着 着るる

構

**帶** びい 六月廿七 **降誕** かうたんとん **若冠** わかくかん

**器用** きよう **大智** たいち **利口** りこう

**發明** はつめい **無懈怠** むせたい **無油斷** むあぶらきり

**勵** れき **無懈怠** むせたい **無油斷** むあぶらきり

**儉約** けんやく **勤略** きんりやく **始末** しまつ

**失墜** しつたい **徒事** とじ **穿** せん

**鑿** さく **僉議** けんぎ **吟味** ぎんみ

**現金** げんきん **拂底** ふつてい **一件** いけん

**景氣** けいき **不都合** ふつごう

**證文** ていぶん **註文** ちうぶん **手形** てがた

**質物** しつぶつ

**實物** じつぶつ

壽

五

再應さいおう 每度まいど 折節せつせつ

催促さいせき 律義りつぎ

遲速ちそく 皆濟みなさい 永文えいぶん

鑿錢せきせん 支度しど 運うん

送そう 駄賃だちん 不圖ふと

往還じやうわん 差別さべつ 急度きゅうど 分ぶん

貪着こんちやく 差別さべつ 了簡りょうかん

喧嘩けんか 急度きゅうど 了簡りょうかん

別べつ 了簡りょうかん 納得なつとく 無む

勘弁かんべん 斟酌けんしやく 納得なつとく 無む

覆藏ふくさう 間違まごひ

堪忍かんにん 格別かくべつ

格外くわがくがい 天氣てんき 步あゆみ

行ゆく 勝手かたて 夕陽ゆふやう 黃昏くわんこん

白晝はくじつ 夕陽ゆふやう 黃昏くわんこん

薄暮はくぼ 深更しんかう 素す

曉あけぼの 放埒はうらう 學問がくもん 素す

俄卒がくそつ 學問がくもん 素す

讀よみ 行儀ぎょうぎ 作法さくほう 失うしな

稽古けいこ 修行しゆぎやう 失うしな

念ねん 支離しり 厄やく

親族しんぞく 縁者えんしや 眷属けんじゆく

從類じゆるい 由緒よし 眷属けんじゆく

朋友ともだち 傍輩はうばい

師範の原不互 師範範ハハハ 師匠師匠ハハハ 師匠師匠ハハハ 跡跡ハハハ

遠遠ハハハ 無沙汰無沙汰ハハハ 無無ハハハ

音音ハハハ 背本意背本意ハハハ 氣之毒氣之毒ハハハ

笑止笑止ハハハ 笑止笑止ハハハ 笑止笑止ハハハ

迷惑迷惑ハハハ 預示預示ハハハ 飛脚飛脚ハハハ

到着到着ハハハ 飛札飛札ハハハ 使札使札ハハハ

口演口演ハハハ 辞儀辞儀ハハハ 口儀口儀ハハハ

尊顏尊顏ハハハ 拜顏拜顏ハハハ 拜顏拜顏ハハハ

貴顏貴顏ハハハ 貴面貴面ハハハ 面謁面謁ハハハ

面上面上ハハハ 落手落手ハハハ 受納受納ハハハ

落掌落掌ハハハ 砌砌ハハハ 砌砌ハハハ

苦勞苦勞ハハハ 難澁難澁ハハハ 難儀難儀ハハハ

難題 難い問題 氣 気

分 ぶん 驗氣 けんき 全快 ぜんがい

養生 やうじやう 專一 せんいつ 相應 さうおう

本復 ほんふく 加持 かぢ 祈禱 きんたう

以參 いさん 伺公 きんこう 推參 おしさん

懇望 こんぼう 所望 しよぼう 拙者 せつしや

悴 せつ 伯 はく 父 ちち

叔母 しよぼ 從弟 じゆてい 甥 せう

姪 めい 曾孫 そうそん 玄孫 げんそん

腹替 はらかへ 舅姑 きゆうこ 推察 おしさつ

推量 おしりやう 察入 さつにり 嚙々 せせ



頓而あつち併あはれ乍去あつち就あつち

中あつち慮外あつち緩怠あつち

貴墨あつち貴札あつち未女あつち細あつち

具あつち慇懃あつち叮嚀あつち

聞濟あつち却而あつち手透あつち聞届あつち

無寸暇あつち外出あつち残念あつち

無念あつち同伴あつち

同道あつち誘引あつち改曆あつち御あつち

慶友あつち吉兆あつち盡期あつち

際限あつち休期あつち佳例あつち

嘉儀あつち祝詞あつち嘉詞あつち上あつち

**巳** 巳月の節もいふ人のこの日のと  
**端午** 六月の節もいふ人のこの日のと

七月七日の七夕  
**七夕** 七月七日の夕に乞巧を重み  
**八朔** 八月の節もいふ人のこの日のと

九月八日の陽穀のまはまり九月九日の重九  
**重陽** 九月八日の陽穀のまはまり九月九日の重九  
**嘉** 九月九日の節もいふ人のこの日のと

十月十日の玄猪  
**玄猪** 十月十日の節もいふ人のこの日のと  
**歳暮** 十二月の節もいふ人のこの日のと

十一月十一日の節もいふ人のこの日のと  
**節會** 十一月十一日の節もいふ人のこの日のと  
**規式** 十一月十一日の節もいふ人のこの日のと

十二月十二日の節もいふ人のこの日のと  
**種** 十二月十二日の節もいふ人のこの日のと  
**七** 十二月十二日の節もいふ人のこの日のと

正月十三日の節もいふ人のこの日のと  
**幟** 正月十三日の節もいふ人のこの日のと  
**星合** 正月十三日の節もいふ人のこの日のと

二月十四日の節もいふ人のこの日のと  
**精靈會** 二月十四日の節もいふ人のこの日のと  
**魂棚** 二月十四日の節もいふ人のこの日のと

三月十五日の節もいふ人のこの日のと  
**初穂** 三月十五日の節もいふ人のこの日のと  
**靈膳** 三月十五日の節もいふ人のこの日のと

四月十六日の節もいふ人のこの日のと  
**焼香** 四月十六日の節もいふ人のこの日のと  
**看經** 四月十六日の節もいふ人のこの日のと

五月十七日の節もいふ人のこの日のと  
**回向** 五月十七日の節もいふ人のこの日のと  
**執行** 五月十七日の節もいふ人のこの日のと

配膳 客のくわう小坐膳のてより中ふ 郷食 世俗とあると妻女中みあわくあり

應心 たりの 鹽梅 塩と梅の酸と味の味とけり小 料理 塩と梅の酸と味の味とけり小

亭主 店の主人 給仕 主人のつかひ 物 今銀とあづかる

賄 今銀とあづかる 千傳 今銀とあづかる 珍味 珍味 賞翫 賞翫

數寄 數寄 酒宴 酒宴 酪酊 酪酊 沈醉 沈醉

尾籠 尾籠 忘却 忘却 面目 面目 流石 流石

萬端 萬端 穩便 穩便 隱密 隱密

希 人よき 合點 水部春 得心 心を得 許容 許す

違背 くつね 何卒 なほ 偏 ひとへ 入 いれ

吳々 いんいん 是非 しはい 序之刺 ついで

遮而 あきつ 執成 しやくじやう

披露 ひろ 芳慮 はうりょ

被懸 ひかり 芳意 はうい 御惠投 ごゑいとう

被贈下 ひくわ 送給 そうじやう

被贈上 ひくわ 進上 しんじやう

進覽 しんらん 輕微 けいゐ 些 せ

少 せう 寸志 すんし 錢別 せんべつ 入部 いりぶ

少 せう 寸志 すんし 錢別 せんべつ 入部 いりぶ

少 せう 寸志 すんし 錢別 せんべつ 入部 いりぶ

家柄後後多々家柄後後多々行列二宮さまのつらきとよか 貴賤きせん

群集むらがり 祭禮まつり 法事ほふし 不ふ

鷹野たかの 鹿将かじやう 不ふ

取敢とりあ 内室うちむろ 納結のうけつ 沽券狀かふせんじやう

調市てうぢ 立身たてみ 家柄けあひ

褒美ほび 系圖けいず 頂戴ていだい 拜はい

領りやう 二種一荷にしゆいちが 後喜ごき 永日えいじつ 永陽えいやう

時とき 後喜ごき 永日えいじつ 永陽えいやう

來陽らいやう 奉期ほうき 恐惶こうかう

來陽らいやう 奉期ほうき 恐惶こうかう

來陽らいやう 奉期ほうき 恐惶こうかう

來陽らいやう 奉期ほうき 恐惶こうかう

謹言 きんげん あやまらざる言  
謹言 きんげん あやまらざる言  
頓首 とんすう あやまらざる言

敬白 けいひやく あやまらざる言  
不備 ふび あやまらざる言  
不宣 ふせん あやまらざる言

不具 ふぐ あやまらざる言  
以上 いじょう あやまらざる言  
脇付 わきづけ あやまらざる言

御中 ごちゆう あやまらざる言  
御宿 ごしゆく あやまらざる言

所 ところ あやまらざる言  
尊酬 そんしゆう あやまらざる言  
貴答 きたう あやまらざる言  
御 ご あやまらざる言

報 ほう あやまらざる言  
返報 へんぱう あやまらざる言  
大概 たいがい あやまらざる言  
畢 ひ あやまらざる言

上行

子記

